

Mothership LAB

あたたかい“こころ” 育つ“ちから”

vol.8 2023年 春号



特別企画『家庭が育てる子どもの心』
須磨学園学園長 西 和彦 先生

松屋会長 葛西得男

園の取組みで子育てを楽しむ
おすすめ

マザーシップの臨床美術
アートと出会う時

マザーシップのアーティッソープ教育 家庭でもできる手作り

子育てコミック ここからはじめる育児 第4回
黒焦げのパン

内藤博士の「毎日」の教え V ひとりっ子

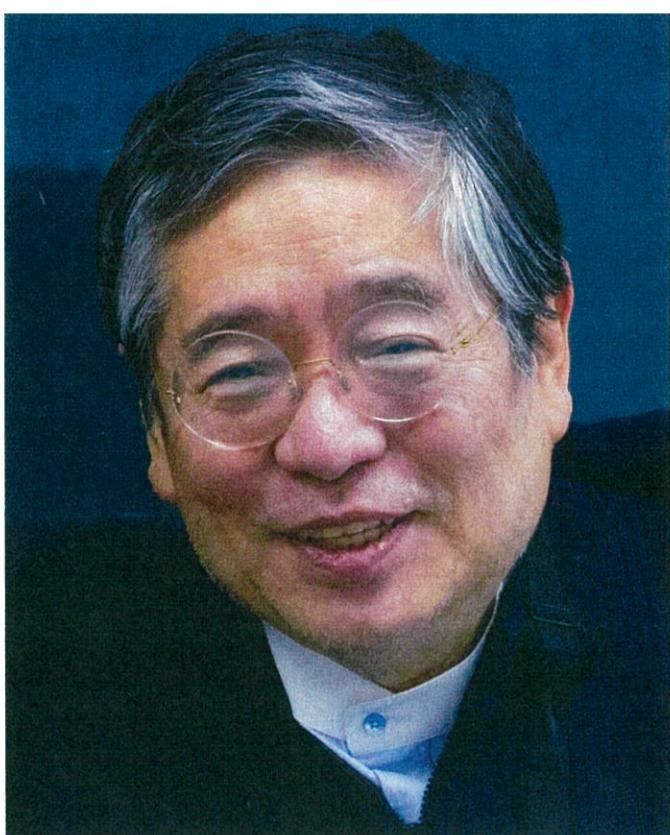
子育て 2冊のバイブル 「母性の原理」／「母学」

マザーシップ・ヒストリー 手塚ワールド

Mothership

特別対談「家庭が育てる子どもの心」

学校法人「須磨学園」学園長
西和彦先生と葛西得男理事長



西 和彦 (にし かずひこ) 先生

1956年神戸市生まれ。早稲田大学理工学部中退。1977年にアスキー出版を設立。マイクロソフト社ではボードメンバー兼技術担当副社長になりパソコン開発に取り組む。1987年、史上最年少の上場企業社長としてアスキー社長に就任。アスキー社長を退任後、工学院大学大学院で博士号を取得。米国マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員教授、国連大学高等研究所副所長、尚美学園大学芸術情報学部教授などを歴任。現在は、須磨学園の学園長のほか東京大学大学院工学系IOTメディアカルラボトリーのディレクターも務めている。著書『反省記』は2020年にダイヤモンド社から出版。

からの日本を担うコンピュータエンジニアを育てる画期的な大学の設立へと夢は大きく広がる。(司会は朝野富三・本誌編集長)

「感動」がすべての原点

——随分若い頃からの付き合いだそうですね。

理事長 ソニーの創業者である盛田昭夫さんを囲む「盛学塾」という勉強会でもご一緒に、今はマザーシップ保育園の「森の家」として使っている信貴山の山荘(大阪府八尾市)にお誘いし、亡き父(健蔵氏)に会つてもらつたこともありました。

西先生 出版社から「ハンセイキ」を書いてほしいと言われ、還暦の60を過ぎたので「半生記」のことかと思つて企画書を見たら「反省記」とあつたんですよ。確かにいろいろ失敗や反省はありました。でもね、自分の人生を後悔していません。僕の視線はいつも未来に向いていますからね。

西先生 そうでしたね。もう40年近く前になりますよ。

理事長 「盛学塾」では2カ月に1度、東京のホテルで夕食を食べなが

ら、盛田会長からベンチャーの精神や具体的な成功の方法などを教えていた

「子は親の鏡」という言葉がある。「だから怒つてばかりではダメなんです。丁寧に子どもと話すようにしてください。それでも1回や2回でなく、必要なら1000回でも」と言うのは、学校法人須磨学園(神戸市須磨区)学園長の

西和彦先生だ。大学在学中にアスキー出版を立ち上げ、草創期のマイクロソフトに参画。史上最年少の上場企業社長を務められたことで知られているが、葛西理事長の古くからの友人でもある。情報学の博士号もとられ、2年後にはこれ

西先生 45年前です。アメリカのコ

だきました。塾生にはソフトバンクの孫正義さんやパソナグループの南部靖之さんもおられましたが、西さんの話は格段にスケールが大きく、いつも驚かされてばかりでした。西さんの出された『反省記』を読んで大変に感動しました。

西先生 出版の原点である」と書き、マイクロソフトのビル・ゲイツさんとの出会いはまさにそうだったと書かれていますが、お互いにまだ学生だったのですね。

ンピュータ専門雑誌の小さな記事に目

がとまたのがきつかけでした。すぐ
にアメリカに飛んで行つて会い、一緒に
に未来をつくろうと意気投合したの

す。パソコンの黎明期、彼と一緒に仕

事ができ、素晴らしい経験をさせても
らつたと思つています。彼とは同じ年
で、今でも親しくしていますよ。

理事長 そうそう、西さんから仙台を
アメリカのシリコンバレーのような街
にしたいとか、仙台とカリフオルニア
を結ぶアスキーエアラインをつくると
かお聞きしたことを覚えていますよ。

「葛西さん、ジエットヘルリを買った
よ。支払いはこれで済ませたんだ」と
一枚のカードを見せられた時は、びつ
くり仰天でしたよ。

「感謝」の気持ちがつくる 幸せ

た。

西先生

――『反省記』を書きながら人生を振
り返つて気づかれたことがあったそう
ですね。

西先生 天国も地獄も経験してきた僕
ですが、「すべてのことは過ぎ去つて
いく」ということです。だから、どん
な状況になつても平常心を保ち、やる
べきことをやる、それが最善の方法だ
と考え、それを本にも書きました。

理事長 「盛学塾」の勉強会が終わる
と、いつもみんなホテルのコーヒーヒー
ショップに集まつて夢を語り合つたり
していましたね。西さんの話はいつも
面白く、ワクワクして聞いていまし
た。私もあるの本から西さんの生き方に
学ばせていただきことが多々ありまし
くり仰天でしたよ。

好き嫌いもはつきりしている。だから
喧嘩や対立もよくあつた。でも、性格
は変わらないですよね。性格が変わる
きっかけとして4つあるとよく言われ
ています。大病したとか刑務所に入つ
たとか破産、それに身近な人の死です
かね。僕はどれも経験していないか

事をしたり、本当に多くの経験をさせ
てもらつたことに感謝しています。感
謝の気持ちを持つことが幸せなんだ
と思うようになりましたね。

理事長

それにもしても西さんは多忙な
方でしたね。あまりにハードなスケ
ジュールなので私はいつ寝ているの
か、どこでどう過ごしているのかとお
聞きしたことがあります。そしたら日
本にいるのが3分の1、アメリカ
が3分の1、飛行機の上が3
分の1だと聞いて、この人すご
い！ と思いました。

西先生 あの頃
は「雲の上」を
使っていたので
す。国際線では
ファーストクラ
スにするんです。「雲の上」なら自分
の時間だからゆっくり考へることがで
きるし、大企業のトップに会う機会も
多い。彼らと知り合いになつて売り込
んでみたり、コミュニケーションの中
からアイデアが出てきて画期的な製品
が生み出されたこともあつたのです。

西和彦 反省記

ビル・ゲイツとともに成功をつかんだ僕が、
ビジネスの“地獄”で学んだこと



マイクロソフト副社長として
「帝国」の礎を築き、
創業したアスキーを史上最年少で上場。

だけど、マイクロソフトからも
アスキーからも追い出され、全てを失つた……。
その裏側を明かしながら、
何がアカンかったのか真剣に考えた。

ビル・ゲイツが認めた 「伝説の起業家」が明かす 成功と失敗の秘密

ダイヤモンド社

次世代を育てる「夢」

——おふたりは、保育園と中学・高校という違いはあっても、次世代を担う子どもたちを育てるという共通した事業をされていますね。

西先生 須磨学園の前身は、母方の祖母（西田のぶさん）がつくった裁縫女学校です。祖母は女学校の教師だったのですが、4人目の子をみごもつていて時に夫が亡くなってしまい、経済的に自立するために学校をつくったんですね。長く女子高校でしたが、男女共学にし、進学校にするために中高一貫校がされました。僕は開学125年ぐらいたまに創立百周年の記念式典を開くことができました。僕は開学125年ぐらいまでは見届けられるでしょうが、その先の200年、日本の未来を担う優秀な人材を育てる教育機関にすべく努めているところです。他には夙川中学校・高校の経営にも携わっています。

理事長 マザーシップ保育園は父の創ったアップリカの起業の地である大阪・船場に第一号園を開設し、まだ

13年と歩み出したところですが、おかげさまで保育の世界では高い評価をいただき、昨年秋には西宮北口園に分

園もできました。さらに大阪市内に新たな保育園をつくる計画も考えているところです。西さんの夢である大学構想は進んでいるんでしょうか。

西先生 ええ、着々と進めています。

日本ではいろんな大学で授業をしまして、大学設立にかかわった経験もあり、いつそ自分の理想の大学をつくりろうと決めたのです。「秋葉未来大学」という工科大学の構想をつくり、2010年の開学予定までいったのですが、リーマンショックのあたりを受け中止になってしまいました。もちろん、そんなことで諦める気はありませんでした。今、計画しているのは世界に通用する超一流のコンピュータ技術者を育てる大学で、仮称「日本先端工科大学」という工学部のみの単科大学を神奈川県の小田原市につくる構想です。（あらゆるモノをインターネットにつなげる）IoTの技術開発に夢を持つ学生を集め、独創的な人材を育てたい一心でいます。今年秋には文部科学大臣に設置許可申請を出し、来年秋に認可が下りればすぐに学生募集を始め、2025年春の開学というスケジュールで準備を進めています。

理事長 西さんの夢のセカンドステージの始まりですね。第2、第3の「西

和彦」が出てくるかもしれませんね。聞いているだけで胸が躍ります。私どもマザーシップは、「あたたかい心を育む」ことを基本理念にしています。

育児の神様、内藤寿七郎先生、マンガの神様、手塚治虫さん、そして父健藏の3人で始めた育児運動ですが、かつての一人っ子政策の影響で子どもの問題が深刻な中国では改めてこの運動が再評価されていると聞いています。

能力、才能を開花させると同時に、「あたたかい心」を持つ子どもを育てたいと考え取り組んでいます。

西先生

須磨学園の校訓は「学ぶよ

ろこび」「考える力」「実行する勇気」、それに「思いやる心」の4つからなります。「思いやる心」はとても大事ですが、生徒だけの力では育ちません。僕は親が怒らないことが大きなポイントだと考えています。親が怒つてばかりでいたら子どもも同じようになってしまいます。怒るよりも、丁寧な言い方で子どもとよく話し合い、引っ張っていくことが重要です。問題あるお子さんを見ていると、例外なく親ごさんにも問題があります。子どもにとって家庭でのロールモデルは親なんですね。ですから、努力して根気よくお子さんと話し、わからせることが大切だと思います。

理事長 まったく同感です。今日は貴重なお話をたくさんお聞きでき、ありがとうございました。

